

編集後記

■編集委員 (50 音順)

伊 熊 健 一 郎	岩 崎 昭 憲	小 澤 壯 治	北 島 政 樹
北 野 正 剛	清 水 一 雄	徳 村 弘 実	東 原 英 二

エジプト、インド、インドネシア、マレーシア、サウジアラビア、これらに共通するのは国民の多くがイスラム教徒であることだ。これらの国で開催された国際学会や大学に招聘され、甲状腺内視鏡手術のライブデモを行った。エジプト、カイロ大学では2回にわたり7～8日間ずつ滞在し、現地外科医と十数例の手術を行い、カンファランスに連日出席させられた。サウジアラビアでは、リアド市で開催された国際シンポジウム参加と王立サウジアラビア大学でのライブデモを行った。同市でこの期間の前後に2回も大規模な自爆テロがあり多数の死傷者が出た。その合間に施行した、まさに危険で、緊迫した手術であった。

今回の特集「乳腺内視鏡外科手術の適応とその限界」と同様に甲状腺内視鏡手術にもいえることは、この手術の目的は、女性に多い疾患であるがゆえに、特に整容面を重視したものである。患者にとってつねに露出された前頸部に手術創が入る甲状腺手術の整容面の問題は想像以上のものがある。

そこで冒頭の話に戻るが、イスラム教徒の女性は頭から前頸部を覆うスカーフをつねに纏っており前頸部を通ずる、露出することがない。何度かこれらの国々で甲状腺内視鏡手術を経験しているうちに、果たしてこの手術はこれらの国の女性たちに整容上意味のあるものかどうか疑問を持つようになってきた。サウジで行われたシンポジウムのプレスカンファランスの席上で私は、反対に会場に向かって「前頸部に手術創の入らない甲状腺内視鏡手術は、前頸部を露出しないイスラム圏の女性にとって意味のある手術かどうか」と質問した。会場から沢山の人が上がった。どの答えも「極めて意味がある」であった。司会者も自分のマイクで討論に割り込んできて、「すべてのイスラム教女性にとって重要な意味がある」と力説していた。

その理由はこうである。スカーフは自分の恋人、夫、親などごく親しい、身近な人の前で初めて取る。そのときに露出される前頸部に手術創があることは大変不快なことであるという。未婚女性にとっては結婚問題に関係してくるそうだ。気の許せる、愛する人の前でためらいもなくスカーフを取れるのはどんなに素晴らしいことかと熱く語る女性もいた。危険を冒して、また遠くまで手術に来た甲斐があったとほっとした。

そこで、今回の特集のテーマである乳腺の内視鏡手術の意味、有用性について考えてみた。前頸部を露出しないイスラム教女性の数とはわけが違って世界中の女性の乳腺は通常つねに衣類に覆われている。したがって乳腺手術を受けた女性にとって、外観上、整容面の問題は無いが、それだけに反対に入浴あるいは友人や愛する人の前で初めて乳腺を露出したときの整容上の問題は計り知れないものがある。その意味で、乳腺内視鏡手術は、前頸部以上につねに衣類に覆われている部位であるだけに、甲状腺内視鏡手術に勝る整容上の利点と深い意味を有しているのではないかと感じたのである。来月、ジャカルタではまた甲状腺の内視鏡ライブ手術が予定されている。そういえばまた、イスラム教国である。

(清水一雄)

日本内視鏡外科学会雑誌 (第10巻 第2号) 2005年4月15日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

1部定価: 会員には毎号送付されます。その他については、1部定価 2,835 円 (本体 2,700 円 + 税 5%) となります。

2005 年 年ぎめ予約購読料: 16,500 円 (税込) (配送料: 医学書院負担)

編集・発行: 日本内視鏡外科学会 (代表: 北島政樹)

〒162-0802 東京都新宿区改代町 26-1-B03 有限責任中間法人学会支援機構内

(☎ 03-5206-6007 Fax 03-5206-6008 担当: 佐々木) <http://www.jses.org>

Published by Japan Society for Endoscopic Surgery, 26-1-B03 Kaidaicho Shinjuku-ku,

Tokyo, 162-0802, Japan

©2005, Printed in Japan

発 売: ㈱医学書院 (代表: 金原 優) (本誌担当: 蔵田, 中田) <http://www.igaku-shoin.co.jp/>

<http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jses/>

〒113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3 (振替口座 00170-9-96693 番)

本誌編集室直通 ☎ 03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802 E-mail: jses@igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎ 03-3817-5659・5660 (Fax 03-3815-7804)

印刷所 横山印刷(株) ☎ 03-3622-6161 (Fax 03-3625-1591)

広告申込所 ㈱文栄社 ☎ 03-3814-8541 (Fax 03-3816-0415)

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意下さい。